



【プレスリリース】

報道関係各位

2020年6月16日
ダノンジャパン株式会社

— 世界で広がる「良い会社」の認証制度 — ダノンジャパン、日本の大手消費財メーカーおよび食品業界で初めて Bコーポレーション認証を取得

ダノンジャパン株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:ステイン・ヴァンデヴォースト、以下 ダノンジャパン)は、日本の大手消費財メーカーおよび食品業界で初となるBコーポレーション(以下、B Corp)認証を5月27日に取得しました。B Corpは、米国のペンシルベニア州に拠点を置く、非営利団体B Lab(以下、Bラボ)が運営する国際的な認証制度で、社会や環境に配慮した事業活動において一定の基準を満たした企業のみ与えられるものです。ダノン(本社:フランス・パリ)が世界120を超える市場で展開する事業の連結売上30%以上の子会社がすでにこの認証を取得しており、今回のダノンジャパンのケースは24番目のものとなります。

B Corpの「B」は、英語の「Benefit(ベネフィット:便益)」を意味し、株主だけでなく、従業員や顧客、社会や環境に対して等しく便益を生み出すことが企業の成功であるとされています。製品やサービスを越え、その背後にある事業全体を対象にした数少ない認証制度です。評価プロセスにおいては、「ガバナンス」「従業員」「コミュニティ」「環境」「顧客」の5つのカテゴリで企業のパフォーマンスが測定されます。認証を希望する企業はBインパクトアセスメント調査表を提出することが求められ、200点以上のうち最低でも80点の監査済みスコアを獲得する必要があります。これにより、社会貢献活動など、これまで数値化することが困難であった分野が可視化され、自社の目標や他社と比較することが可能になります。その上、認証を得た企業は、3年ごとに継続的な改善を目的に再評価を受ける必要があり、法的な項目においても準拠していることが義務付けられています。

今回、ダノンジャパンの総合点数は85.3点でした。Bラボがベンチマークとしているダノンジャパンと同規模の対象企業*の平均値と比較すると、5つのカテゴリ全てにおいて平均値を上回る結果となりました。特にガバナンスにおける「ミッションとエンゲージメント」において、高いスコアとなり、これはダノンのビジョンおよびミッションが事業運営をする上での指針になっていることを示しています。また、従業員のカテゴリでは「健康、ウェルネス、安全」が、コミュニティにおいては「市民参加と支援」の項目がベンチマークと比較して高いスコアでした。これは従業員、ステークホルダーのそれぞれに、プラスの影響を与えるべく、具体的かつ積極的なイニシアチブを推進していることが評価されたものです。環境においては、全ての要素で高いスコアを示し、サーキュラーエコノミーの一環で運営されているリサイクルセンターの活動もここに含まれています。また、顧客のカテゴリにおいても高いスコアとなりました。これは、日本の乳業業界で初めてFSSC22000認証を取得するなど、消費者のための品質と食品安全への取り組みが評価されたものです。ダノンジャパンは、今回の評価を真摯に受け止めるとともに、内容を分析し、改善活動を実施していきます。

*ダノンジャパンの総合点数「インパクトエリアスコア」は、従業員数が 250～999 人規模の 455 社(通常のビジネス)と比較されています。通常のビジネスとは、優れた製品またはサービスの提供に重点を置いているものの、社会または環境に対する明確な目的がない企業を意味します。

B Market Builder Japan(B マーケット・ビルダー・ジャパン)の創設者で理事の山崎正人氏は、以下のコメントを述べています。「B Market Builder Japan は、この度、B コーポレーションの認定を取得されたダノンジャパンの皆様にご心よりお喜び申し上げます。1919 年以来、数々の立派な業績と共に、世界を代表する大手食品メーカーとして、日本の B コーポレーションコミュニティの一員としてお迎えできますことを名誉であると存じます。これまで活躍された世界120 各国で蓄積された社会的貢献型企業の経験を十分に生かされて、見事に 24 社の子会社が B コーポレーションの認定を取得されました。B ラボが掲げる『企業の力を以って、より豊かで素晴らしい世界の実現』に努力された模範的企業として、B コーポレーションの存在価値を世界に示されたことは称賛に値します。今後は、ダノンジャパンの皆様にも、日本における B コーポレーションを広める運動にご協力いただけることを大いに期待いたします」

ダノンジャパンの代表取締役社長、ステイン・ヴァンデヴォーストは、以下のようにコメントしています。「この度、当社が B Corp 認証を取得することができたことを大変嬉しく思います。ダノンは日本で事業を始めてから 40 年にわたり、より多くの人々に食を通じて健康をもたらし、社会的、経済的な成功の両方を追求してまいりました。この歴史の積み重ねが、世界的にも認知されている B Corp という形で今回認められたことは、大変誇らしく、また、私たちが次の一歩へ駆り立てるものでもあります。当社は引き続き、人々の健康と健全な地球を守り、豊かなものにしていくとともに、包括的で多様性のある環境を推進することで、当社従業員と共に未来を創造してまいります」

ダノンジャパンについて

ダノンは 1980 年に「味の素ダノン株式会社」として日本市場に初めて参入し、1992 年に「カルピス味の素ダノン株式会社」を設立しました。2007 年に 100%子会社としてダノン傘下に入り、社名を「ダノンジャパン株式会社」に改めました。ダノンの日本法人であるダノンジャパン株式会社は、チルド乳製品では「ダノンオイコス」「ダノンデンシア」「ダノンビオ」「ダノンヨーグルト」「プチダノン」「ベビーダノン」、ウォーターでは「エビアン」のような飲食製品を提供しています。また、2020 年 4 月より、新たに植物性食品「アルプロ」の販売を開始しました。

また、ダノンジャパン株式会社は、2018 年に新たな原材料調達・開発方針として、(1)安全性、おいしさ、栄養価を保ちながら原材料の見直しに取り組んでいく「素材へのこだわり」、(2)徹底した「原材料に関する情報発信」、(3)「日本のお客様の栄養ニーズに応える製品開発」の 3 つを「ダノンジャパンのお約束」として発表しました。詳しくは、以下のウェブサイトをご参照ください。

「ダノンジャパンのお約束」: <http://www.danone.co.jp/company/pledge/>

ダノンについて

ダノンは、「より多くの人々に食を通じて健康をお届けする」という企業理念を掲げ、チルド乳製品と植物由来の製品、ウォーター、専門栄養食品をあわせた 3 事業を展開する飲食業界のグローバル・リーダーです。「私たちの健康と健全な地球は繋がっている」という強い信念のもと、ダノンは「One Planet. One Health(ワン・プラネット、ワン・ヘルス)」というビジョンを掲げ、より健康で持続可能な食生活に新風を吹き込むことを目指します。このビジョンを実現し、すべてのステークホルダーにむけ、持続可能なだけでなく経済成長を促進する 2030 年までの持続可能な開発目標 (SDGs)を策定しました。ダノン 2030 年目標は、国連の持続可能な目標 (SDGs)をモデルにしています。ダノンは、健康に関する事業に軸足を置き、効率的で責任のある事業運営を通じて持続可能な価値を創造し、共有することに注力しています。また、事業運営では高い基準に則り、多国籍企業として初めて B コーポレーションに認証される一社になることを目標にしています。

ダノンは、世界 120 以上の市場で事業展開し、全従業員は 10 万人を越えます。2019 年の売上は 253 億ユーロでした。ダノンには、国際的に認知度の高いブランド(「アクティブア(日本では「ダノンビオ」として販売)」「アクティメル」「アルプロ」「アプタミル」「ダネット」「ダノニーノ」「ダニオ」「エビアン」「ニュートリシア」「ニュートリオン」「ボルヴィック」など)や、ローカルブランド(「アクア」「ブレディナ」「ボナフォン」「カウ・アンド・ゲート」「ホリゾーン オーガニック」「マイゾーン」「オイコス」「プロストヴァシキーノ」「シルク」「ヴィーガ」など)があります。ダノンは、NYSE ユーロネクスト・パリ証券取引所と、米国預託証券プログラムを通じて、OTCQX に上場しています。「ダウジョーンズ・サステナビリティ・インデックス」「ヴィジオ」「エティベル・サステナビリティ・インデックス」「MSCI グローバル・サステナビリティ」「MSCI・グローバル・SRI・インデックス」「フィッチ・フォー・グッド・インデックス」といった主要な社会的責任投資インデックスに選出されています。

【報道関係者からのお問い合わせ】

ダノンジャパン 広報代理 株式会社バーソン・コーン&ウルフ・ジャパン
担当: 木原
電話: 070-4504-0793 E-mail: kaoru.kihara@bcw-global.com

【お客様からのお問い合わせ】

ダノンジャパン お客様相談室 0120-409610